

今後の省エネルギー技術開発等のあり方に関する検討

(実施期間：2018/4～2018/12)

技術テーマ区分番号：⑫

主な実施場所：(一財)エネルギー総合工学研究所

取組活動の内容

事業目的・概要

- 2014年の「省エネルギー技術戦略2011」の重要技術の改定、「省エネルギー技術戦略2016」で取り上げられている技術のその後の発展を踏まえ、2030年以降の普及を目標として考えられる革新的な省エネルギー技術等について動向（国家プロジェクト・各種施策、民間企業の取組状況等）・省エネルギーポテンシャル等を調査した。
- 上記調査結果、「地球温暖化対策計画（平成28年5月閣議決定）」や「エネルギー・環境イノベーション戦略（平成28年4月）」、「長期地球温暖化対策プラットフォーム（平成29年4月経済産業省）」、見直しが予定されている「エネルギー基本計画」等のエネルギー、地球温暖化対策に資する政府方針を踏まえ、政府として取り組むべき革新的な省エネルギー技術等の検討を行った。
- 尚、検討内容については、企業及び大学等の研究機関などの外部有識者により構成される「省エネルギー技術検討委員会」に諮ったものとなっている、
- 以上の検討結果、プロセスを経て、省エネルギー技術分野における個別技術等の市場への導入見通しや現時点における達成状況、目標設定とその達成に向けての施策、今後の技術評価法（モニタリング）等を俯瞰的な図表に取りまとめた。

連携実施者

みずほ情報総研株式会社

2018 NEDO事業「今後の省エネルギー技術開発等のあり方に関する検討」

関連外部リンク先

■ https://www.nedo.go.jp/koubo/DA3_100213.html

イメージ図



図1：省エネルギー技術の導入シナリオ (案)

公的資金の活用状況（提供元、資金名、活用期間、スキーム等）

- NEDO事業「今後の省エネルギー技術開発等のあり方に関する検討」